

令和9年度富山県への要望事項

令和8年8月26日(水):岡本会長から県へ提出

富山県看護協会は、県民の健康と福祉に貢献する看護職能団体としての使命を果たすため、富山県への要望書を岡本会長から滑川厚生部長及び田中経営管理部長へ提出しました。

(看護協会出席者：岡本会長、中島副会長、渋谷副会長、吉田専務理事、藤井常任理事)

I 看護の質向上

1 富山県における看護師資格の一本化に向けた准看護師の養成停止

看護師資格の統一は、看護の質の保証や社会的評価の向上、処遇改善等の効果が期待されることから、県内の看護師資格の一本化に向けた准看護師養成停止について、関係者による協議の場を持っていただきたい。

2 多様化する看護ニーズに対応する看護職員資質向上への仕組みづくり

所属施設を越えた人材育成や人事交流の促進など、「施設で育てる」体制から「地域で育てる」横断的な仕組みを構築いただきたい。

3 富山県立大学における認定看護師教育課程の開設

県立大学において、現場ニーズの高い心不全看護や緩和ケア、認知症看護の認定看護師教育課程を開設いただきたい。



岡本会長から滑川厚生部長へ提出

II 働き方改革の推進

1 看護職員の需給推計と確保対策の一体的推進

精度の高い需給推計となるようしっかり検討いただくとともに、深刻な供給不足が懸念される地域や分野において、需給推計と看護職員確保対策を一体的に推進いただきたい。また、スポットワークに親和性の高い診療所へ周知いただきたい。

2 子育て支援（放課後児童クラブ等）の充実

放課後児童クラブについて、①小学校新1年生の確実な利用受入れ、②夏季休業期間中の預かり時間の確保、③利用料金などの保護者負担の軽減、④学年に応じた定員枠の拡充、加えて年度途中の育児休業明けから利用可能な保育園の適正確保に努めていただきたい。



県厚生部長室での要望・意見交換

III 看護領域の開発・展開

1 医療的ケア児とその家族への在宅支援体制の充実

医療的ケア児とその家族が求める短期入所等の拡充と地域格差の縮小、また、医療的ケア児等コーディネーターの活用促進について市町村へ働きかけていただきたい。特に短期入所の拡充については、施設整備のための財政支援と人員確保を一体的に推進いただきたい。

2 自治体保健師と災害支援ナース合同のD24H説明会・実践型ワークショップの開催

D24H（大規模災害発生時に、関係機関や支援チーム間での情報共有・活用を目的として国が開発した統合情報管理システム）の理解を深める説明会に併せて、自治体保健師と災害支援ナースの連携を促進する実践型ワークショップ等を組み合わせて開催いただきたい。

3 看護小規模多機能型居宅介護（「看多機」）の整備推進

看多機の整備促進に加えて、看多機を必要とする県民が市町村を越えた広域利用が可能となる事前同意の協議や調整等をお願いしたい。併せて、これらの県の支援策を第10期富山県介護保険事業支援計画に明記いただきたい。